

あまつなぎ 園田南・北地域包括支援センター共催 多職種研修

今年度は、あまつなぎと各地域包括支援センター共催で『身寄りのいない高齢者支援のための知恵袋 読み合わせ研修』（多職種研修）を行います。

園田南・西地域包括支援センターと共催し、3月16日（火）の14:00~15:30 ZOOMを使ってWebで開催されました。参加は関係者含め34名でした。



司会は園田南地域包括支援センターの奥島さんでした。

本日の流れ

時間	内容
14:00~14:03	はじめに 本日の流れの説明
14:03~14:33	「身寄りのいない高齢者のための知恵袋」の概要説明
14:33~14:35	グループワークの説明
14:35~15:05	グループワーク(5人程度のグループに自動で別れます) 自己紹介 話し合う内容 ・グループで話し合いたいテーマの知恵袋を決める ・選んだ知恵袋を読み合わせする ・これまでの経験や、知恵袋について思ったことや、気づいたことを話し合う。
15:05~15:15	全体画面に戻り、各グループの発表
15:15~15:25	本日の研修の感想
15:25~15:30	

* 研修の録音・録画、資料等の転用・転載は固くお断りいたします。

「身寄りのいない高齢者支援のための知恵袋」の概要を
尼崎市健康福祉局福祉部包括支援担当
寺沢課長の説明動画を画面共有しました。



知恵袋

医療同意については、本人の一身専属的な権利であるとされています。家族の同意権ですら、法文上明確な根拠があるわけではなく、もちろんケアマネジャーを始めとする支援者や後見人等も医療同意や処置に関する対応方針の決定を行える立場にありません。そのため、基本的には国の示す「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」に則り、本人やその支援者(医療・ケアチーム)等が従前より繰り返し話し合い、意思共有を図っておくことが重要です。

ただ、それが行えていない中で緊急事態が生じた場合(本人が判断できる状況にない場合)、推定的承諾等(*)の社会的相当性が認められれば、明示の同意がないとも医師は正当な医療行為として適法に行うことができるとされています(それ故に、事実上は家族同意により医療行為を行っていると考えられます)。そのため、本人に判断能力がなく、また本人のことをよく知る家族等もいない場合、医療同意や処置に関する対応方針の決定については、医療機関が正当な医療行為を判断します。(ただし、医療機関が判断するための情報を提供することは、ケアマネジャー等にも可能です。)

※ もし本人が現状を理解していれば、当該医療行為に同意するであろうと推定可能であること。

(補足)

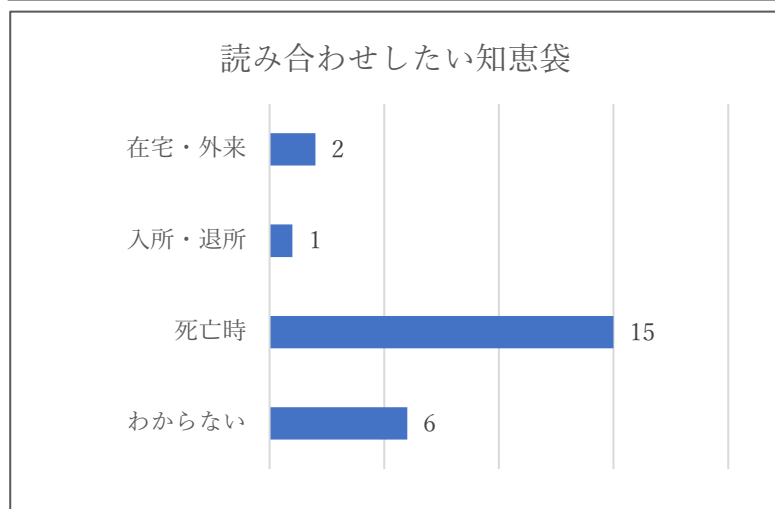
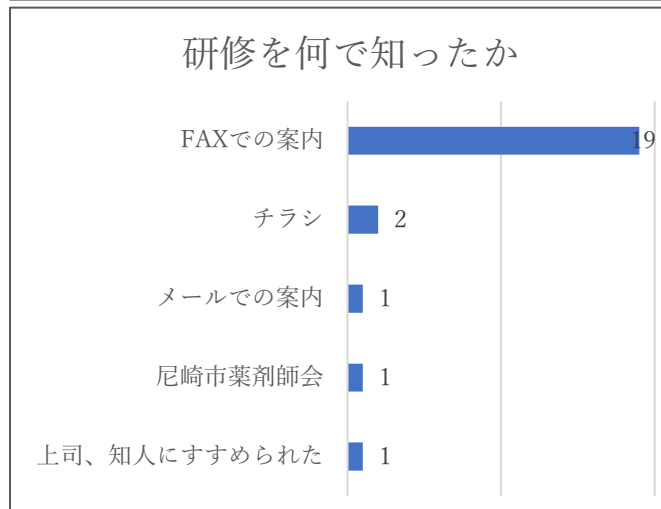
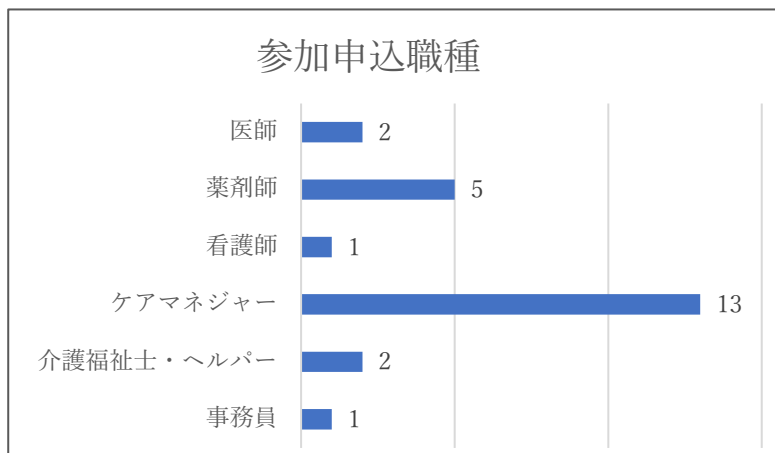
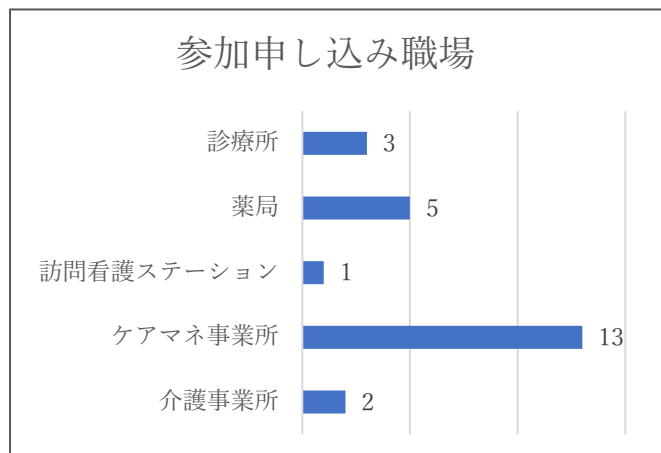
医療機関側で病院の内規や倫理委員会に諮るなどして、治療方針などの対応を決定してもらいます。(医療機関側に内規がない、倫理委員会を開く時間的余裕もない等の事情がある場合は、医療機関として最善の方針をご判断いただく他ありません。)

グループワークで、「身寄りのいない高齢者支援のための知恵袋」の一部を読み合わせした後に、これまでの経験や、知恵袋について思ったことや、気づいたことを話し合い、発表しました。

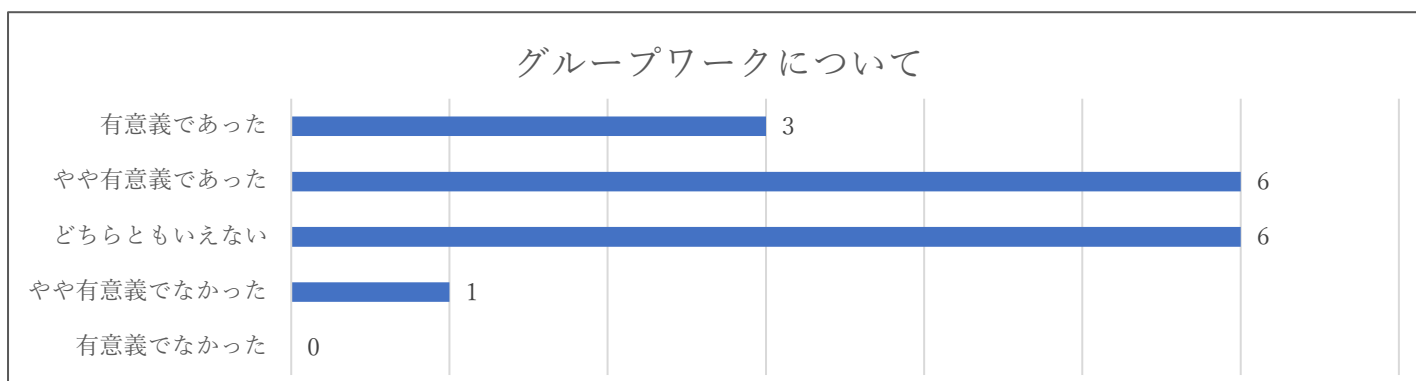
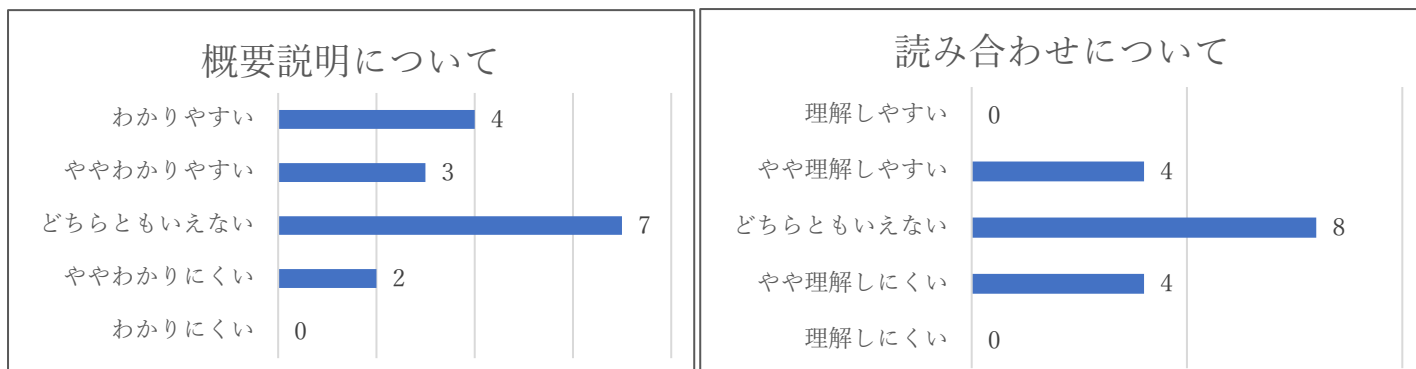


アンケート結果

参加申込時のアンケート結果



研修終了後のアンケート結果 回答率 62%



感想・意見

- これからも、皆さま多職種連携頑張ってください！
- グループワークのテーマなどの資料もあれば司会進行がより円滑になると思います。
- ZOOM 勉強会、いろんな職種の話が聞けてよかったです。
- ZOOM 研修は移動の手間がなく時間の面で助かります。
- 初めての研修がズームでの参加という事で心配しましたが、とても有意義でした。内容が難しかったのですが、薬局内では出てこない悩み事があり、皆さん各々悩んでらっしゃることがわかり、薬局薬剤師として、もう少し踏み込んで行けたら…と思いました。またこのような機会がありましたら、是非参加させて頂きたいです。宜しくお願い致します。
- zoom でグループワークをしたのは初めてだったがスムーズだった。
- 初めての ZOOM で分からない事がありましたか他業種の方の話が聞けて勉強になりました。
- オンライン研修で参加しやすいという便利さはあるもグループワークでの会話に慣れていないこともありなかなか思うように発言できなかつたように思われました。
- 薬局としてかわったことのない内容も多く勉強になりました。薬局としてできることの幅を少しでも広げられるよう勉強していこうと思いました。
- 中川先生のお話が印象的でした。答えを出さなくて良いんだと、とても臍に落ちました。
- 悩めるケースのことをモデルにグループワークで話しあいました。他の職種の方の意見を聞く場はたいへん貴重でした。文字通り、身寄りのない高齢者の支援で日々なやんでいます。介護保険ではなかなか全てできないので結局、ケアマネジャーの負担になっていてそれをどうしたらいいのかなやんでいます。